



高島学園

中学校だより 【第14号】

令和5年 12月 4日

TEL36-0079 FAX36-8012

【文責 校長 浦島 容子】

新年・2024年に向けて！ ～ゴールは、スタートである～

11月下旬に「がん教育」があり、滋賀の「がんスピーカーバンク」から二人の方が来られ、ご自身の闘病体験を通して「生きることの尊さ」を話されました。

写真はその時の9年生の様子です。とても良い姿勢で、熱心に聞いています。授業を終えて、「来させてもらって良かったです。」と言ってお帰りになりました。

二学期は多くの講師の方に来ていただいて、勉強させてもらう機会がありましたが、聞かせてもらったことをもとに、生徒が自ら質問し、講師の方々と会話をする

ことができるようになりました。人は出会いの数だけ成長すると言われますが、まさにその通りです。いろんな大人の方とおだやかに会話をし、自然にやりとりができる生徒が増えました。主体的に人とかわろうとする態度が育ち、コミュニケーション能力の向上が見られます。これらは、文科省が、今、最もつきたい力としています。また、来校された方が「来てよかった、また来たい。」思われる学校になったことは、とてもうれしいことです。



長いと思っていた二学期もあと20日で終了です。二学期は多くの行事がありましたが、生徒たちは日常の学校生活でつけた力を発揮し、活躍してくれました。「良いと思うことを進んでやる」を実践し、個々の主体性がより一層育ちました。「ゴールはスタートである」ということを話しています。新しい年・2024年をどんな年にするか、そのために何をするかを、すでに考え実践している生徒がいます。次の定期テストに向けて取り組む生徒、入試に向けて確認テストに力を入れる生徒、部活動に力を入れる生徒など、目指すものに近づく行動が見られる学期末となっています。

高島市青少年美術展 多くの作品が入賞・入選

～得意を伸ばす～

秋は「スポーツの秋」であり、「芸術の秋」でもあります。市の青少年美術展が開催されました。高島中学校からも多くの美術作品と書の作品を出品しました。中でも、独特のアイデアを形にし、思いを込めて作製したものは、特選や佳作に入賞しています。高中生の作品が多く入賞し、感動的な作品が並んでいました。絵画や立体作品、書道作品は、それぞれが個性的で、見る人に感動を与えます。これらの作品を学校に展示していますので、ぜひ見てやってください。

部活動やクラブチームで身につけた技術も含めて、楽器、木工、裁縫、料理、外国語など、特技を持つ生徒がいます。これらは自分にしかない尊いものです。

これからの社会では、「個性」が重視され、個性を持つ人材が求められています。高校の入試の面接でも「あなたの特技は何ですか」とよく尋ねられます。自分の得意を伸ばしていったほしいものです。それぞれの個性が輝く学校でありたいと考えています。

生徒の木工作品



CSBA 大会 第12回 ～子どものより良い成長に向けて議論が進む～

コミュニティ・スクール（CS）びわこ（B）全日本（A）大会も12回目となりました。回を重ねるごとに内容が充実していきます。今回は、子どもたちのより良い成長を目指して、議論が交わされました。

「この頃は、叱ることが減ったと思う。」

「良くなるようにと思って叱って、その時は良くなってくれたように見えても、それは本当の変化（成長）なのかな。」

「善悪は知っててもらいたいと思うけれど、答えは子どもたち自身の中にちゃんと持っていますよね。強制的に変えようとして、たとえ変わったとしても、本当の成長とは言えないんじゃないかな。」

「気づいてもらうことが大事ですね。自分にとって良いこと、そうでないことを自分で気づくことが大事になってきますね。」

「それが本物の力になってくる。」 「気づかせるかかわり方を考えないと。」

さらに議論は続きました。地域の子どもを大事に思う大人の尊い姿です。高島学園コミュニティ・スクールは、日々進化しています。

ファーム・ラボ ～間引き大根の成長～

ファームの大根が大きく育ちました。どうなるかと思っていた間引き大根も大きくなりました。比べてみると大きさは同じくらいですが、形が少し異なることがわかりました。ファーム・ラボでの楽しい発見です。人参やじゃがいもも育っています。今度はサルの被害にあわないようにと気を配ってくださっています。作物の育ちと共に、教員も生徒も心豊かにしてもらっています。



定期テストが終わりました。「今です！」

今年は年間4回の定期テストとしました。1回少なくなった分、それぞれの教科で単元ごとに確認テストを行い、定着を図るようになってきました。加えて、「主体的な学び」を意識した課題を設定してきました。2学期の後半になり、授業に向かう態度にその成果を感じています。ALTの先生も、英語のスピーキングテストのやる気が素晴らしいと感心されていました。学習に対するクラスの良い雰囲気学力を高めます。テストの得点が著しく向上している生徒も出ています。やはり、授業の集中と、もう一つ、家庭学習が大きく関係しています。家でしっかりと勉強に打ち込むようにお願いします。

2学期のこの時期から、勉強で大きく変わる生徒は多いです。特に受験生である中学3年生（本校では9年生）によく見られます。それらの生徒は家で集中して勉強するようになったというところに共通点があります。勉強の場所も、家族と一緒に過ごす居間での勉強が多いようです。居間か勉強部屋かは話し合っただけであればよいと思いますが、落ち着いて勉強に取り組むようにしてやってください。勉強の内容も確認をしてやってください。ノートひとつとっても、しっかりとまとめているかどうかで、学力に大きく差が出ます。「勉強しなさい」と言う関わりはよくあるようですが、内容を見てやるということが大切でしょう。内容についての、家庭でのコミュニケーションがものすごく大事です。